

症例
ライブラリー

腰背部痛のレッドフラッグを見逃すな

腰背部痛は、ペインクリニックを受診する患者で最も多い主訴の一つである。そのため、疼痛診療に馴染みのない麻酔科医であっても、医者というだけで腰痛についての相談をされることがあるだろう。「最近、持病の腰痛がひどくて、これって年のせいかなあ」といった感じた。そんなときに「しばらく安静にしていれば（少し軽い運動をしていれば）そのうち治りますよ」という安易な返事は禁物だ。悪性腫瘍の椎体転移や化膿性椎体炎など、早期に治療方針を決定し対応しなければならない病態が潜んでいる場合があるからだ。しかし、「いや～、痛みのことはちょっと…」というのも、痛み精通しているはずの麻酔科医としてはいただけない。そんなときはまず、レッドフラッグを意識してみるとよいだろう。

今回の症例ライブラリーでは、腰背部痛に潜む見逃せない疾患について、疼痛診療の専門医たちに解説していただいた。このような疾患を見逃さないための戦略や考え方は疼痛診断学の面白さでもある。普段は疼痛診療をしていない読者にも、この魅力を知っていただき、知識を深めるきっかけにしてもらいたい。

慶應義塾大学医学部 麻酔科教室 / 慶應義塾大学病院 痛み診療センター 若泉 謙太

◆まとめ…レッドフラッグを見逃さないために

682

◆腰は痛いし…手はふるえるし…便秘もつらいです…

82歳の女性。身長148cm、体重46kg。主訴は腰椎の変性側弯症（図1）を伴う腰痛であった。下肢痛の訴えはなく、腰痛のためパートナーに付き添われて院内…

678

◆夜になると首が痛くて眠れません

26歳の女性。身長156cm、体重47kg。現在妊娠29週0日。初回妊娠にて他院（大学病院産科）通院中であり、既往歴に特記すべきものなし。妊娠14週時より頸…

674

◆腰が痛い！助けて！熱もあるんです！

50歳の男性。身長170cm、体重66.5kg。48歳時にL₅/S₁腰椎椎間板ヘルニアに対して経皮的髄核摘出術と椎間板内高周波熱凝固法を受けた。以降は内服薬（シ…

669

◆尻もちついて転び、腰が痛いです

62歳の女性。身長158cm、体重45kg。20年前に乳癌の手術歴がある。もともと腰痛もちであった。シャワー中にふらついて尻もちをついて転倒し、腰痛が出…

665

◆ぎっくり腰になり、痛くて起き上がれません

78歳の女性。身長152cm、体重42kg（BMI 18.2）。L₅/S₁脊柱管狭窄症による腰下肢痛でペインクリニック通院中。家事は問題なくこなしており、間欠性跛…

660

各項のキーワード

以下は掲載順ではありません。
それぞれの症例で何が起こったのか考えながら読んでください

- 脊髄腫瘍、夜間痛、骨浸食像 scalloping
- 偽関節、骨粗鬆症性椎体骨折（OVF）、FRAX
- Parkinson 病、ドパミン神経、非運動症状
- 椎間板炎、脊椎カリエス、感染性心内膜炎、黄色ブドウ球菌、連鎖球菌属、化膿性脊椎炎
- 骨転移、脊椎転移、転移性脊椎腫瘍